



(新しくなった宇小プール)

Contents

議会就任挨拶	2
平成22年第2回定例会、臨時会	3～4
一般質問、日曜議会	5～9
議会報告会	10～11
議会日誌ほか	12

うたづ議会だより

電子メール：gikai@town.utazu.kagawa.jp

発行：宇多津町議会

〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881

☎ (0877) 49-8014

編集：議会広報特別委員会

品格のある誇れる宇多津町を！ 監視型議会から提案型議会を目指して

議長就任挨拶



香川 虎生

4月の臨時議会におきまして第29代目の議長を拝命いたしました。責任の重大さに身の引き締まる思いであります。住民の皆様の期待に応えるため全力で邁進していく所存であります。

さて平成の大合併も一段落し、市町村の数が半減したところですが、当町は合併せず単独で自立していく道を選択しました。住民の方々の民意を代弁する議会におきましては、「住民自らが、自らの町を治める」といった高い意識のもと、町行政と住民との協働を図りながら、まちづくりを推進していきたいと考えています。

議会では、より開かれた議会を目指し、議会の公正性や透明性の確保はもとより「監視型議会」から「提案型議会」を目指していきたいと考えています。そこで提案権や政策立案権、修正権などが行使できる「宇多津町議会基本条例」を平成21年3月に議員提案により、香川県下の町で初めて制定されました。先日5月13日には2回目の「議会報告会」を開催し、多数の住民の方々の参加を頂き、様々なご意見、ご提言などを頂いたところであります。また6月定例議会からは、一般質問において質問者の質問回数制限（今までは3回）を撤廃しました。その為、議論がより活発になり、議会の活性化に繋がっていくのではないかと思います。更に全国に先駆けて昨年実施した「第1回全国コンパクトタウン議会サミット」（面積が10㎞²以下の小さな町の議員同士が持続可能なまちの在り方の意見交換を行った）を開催するなど、様々な取り組みを今後も実施していきたいと考えています。

最後に住民の皆様には、より一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。共に「品格のある誇れる宇多津町」をつくっていきましょう。

委員会構成

議会広報特別委員会の構成が一部変わりました。
新しい委員会構成は次のとおりです。

議会広報特別委員会

◎委員長 ○副委員長

◎平田 弘次
○西本 弘子
宮本 隆

大松喜次郎
香川 虎生

平成22年 第2回定例会



主な内容

平成22年第2回定例会は6月10日から6月17日まで開催され、議案7件、陳情3件、報告2件、承認1件、継続審査1件を審議した。また、一般質問は日曜議会として開かれ、8人が登壇し、「谷川町長の三選出馬について再度伺いたい」「火災警報器の無償配布を」「固定資産税の算定基準について」「子ども読書環境の充実を」「ハント族対策」「町長選挙に谷川実氏立候補について」「ご当地ナンバーの導入について」「宇多津小学校通学路の改善策は」「創造の森の維持活用と聖通寺山史跡の整備を」などについて活発な議論が交わされました。

○補正予算

平成22年度一般会計補正予算(第2号)

賛成多数(8人)で可決

6,270万円を追加し総額60億6,287万円とした。

平成22年度国民健康保険特別会計補正予算

(第1号) 賛成多数(8人)で可決

平成22年度水道事業特別会計補正予算(第1号) 賛成多数(8人)で可決

一般会計補正予算の主な事業内容

○うたづ海ホテル1周年記念事業に200万円

○ユープラザうたづ整備基金の積立に5,000万円

○AED(自動体外式除細動器)用の訓練機器の購入に50万円

○子育て支援の交流事業に200万円



○条例改正

水道事業給水条例の一部を改正する
条例について

賛成少数（4人）で否決

○専決処分の承認

水道事業給水条例の一部を改正する
条例を廃止する条例

賛成多数（8人）で可決

○請願・陳情

肺炎球菌ワクチン、ヒブ（インフル
エンザ菌b型）ワクチン接種への公
費助成制度についての陳情

賛成少数（3人）で否決

永住外国人への地方参政権付与の法
制化に反対する意見書の提出に関す
る陳情書について

賛成多数（7人）で可決

選択的夫婦別姓制度の法制化に反対
する意見書の提出に関する陳情書に
ついて

賛成多数（8人）で可決

○継続審査

治安維持法犠牲者国家賠償法の制定
に関する請願書について

賛成少数（1人）で否決

水道事業給水条例の一部を改正する条例(水道料金値上げ)に対する「否決」について

- 賛成議員の意見
- 家庭用に至っては小額な値上げなので住民も理解してくれるのでは
 - 災害に備えて水道管の耐震化を進めていくためには値上げは必要
- 反対議員の意見
- 積立金を充てて様子を見るべき
 - 経済状況を考えると値上げする時ではない

平成22年第2回臨時会

第2回臨時会を4月26日に開

催し、承認2件、議案2件、発
議1件を審議した、その内容は

- ①専決処分の承認（町税条例の
一部改正）賛成8人で承認
- ②専決処分の承認（国民健康保
険税条例の改正）賛成8人で
承認
- ③平成22年度一般会計補正予算
（水族館構想の経済波及効果の
市場調査委託料に367万5
千円を追加）賛成6人で可決
- ④宇多津小学校プール改修工事
（建築）に304万円の追加工
事を全会一致で可決
- ⑤町議会会議規則の改正（質問
回数を、今までは3回までで
あったが、制限なしに変更）
全会一致で可決

また議長人事（選挙）があつ
た。

平成22年第3回臨時会

第3回臨時会を7月2日に開

催し、議案2件を審議し、全て
全会一致で可決した。その内容
は

- ①平成22年度宇多津北小学校教
室棟増築工事（建築工事）請
負契約に関するもので、指名
競争入札の結果、(株)合田工務
店が2億1,525万円で締結
した。
- ②平成21年度平山地区耐震貯水
槽築造工事請負変更契約の締
結で、契約金額が5,985
万円から5,874万円の減
額となった。

住民の皆様へ
「意見書、陳情、要望書
などの受付」について

締め切りは定例会の前月
末日（9月定例会では8月
31日）までの受付とし、そ
れ以降は次回の定例会の取
り扱いとさせていただきます。

谷川町長の三選出馬について再度伺いたい。



西本弘子 議員

Q 今年10月の町長選挙について、3月議会の折、谷川町長は「逡巡している」と答えられた。その後、多くの町民からの三選出馬要請を受け、お気持ちはどう変わったのか。

A 谷川町長

住民の皆様そのようなお声は、町の発展の基礎はまだ固まっておらず、全ては道半ばではないのか、更なる努力が求められているのではないかとのご叱正ではないかと強く感じました。この町の将来を思う皆様のお声を重く受け止め、行動しなければならぬのではと、思い、思いを新たにいたしました。このような皆様の声に天命を感じ、また天命と思い、私的事情に厳封をし、私の使命はこの発展をより確かなものとし若き世代に引き継ぐ事と自覚をし、非才不敏ではありますが、町の更なる発展を目指し不借身命の覚悟で努力する決意を固めました。

Q 校庭、公園の芝生化を進めたい。ではどうか？

A 西山学校教育課長

A 松井建設課長

宇多津小の校庭の芝生化は、保護者に尋ねても、概ね好評。子どもも体力低下、外遊びの減少などの対策として町内の幼・保育園、北小、公園などでも芝生化を進めてはどうか。北小学校は、社会体育の団体等による多方面の使用がなされておられ、また、その維持管理面からも整備は難しいと考えます。なお部分的な施工が可能かどうか今後研究してまいります。幼稚園は、現在の教室の前庭の芝生が園児と緑の触れ合いの場所、グラウンドは土との触れ合いの場所という方向で考えていますので、今のところ整備の考えはありません。

火災警報器の無償配布を



谷川俊博 議員

Q 必要な全世帯を対象として広く普及させることが、住民の生命と財産を守る行政の最大の使命と考えたとき火災警報器の無償配布の考えは。参考までに、まんのう町は無償配布を実施しています。

A 谷川町長

A 谷川総務課長

住民の生命財産を守るのが行政の最大の役割とお言葉がありましたが、ただ、それにも一定の条件、また、自助、共助、公助ということもあろうかと存じます。その意味で、一般住宅への火災警報器の設置義務は、建物所有者が本来的にはその責任を果たすべきものと思っておりますが、その設置が難しい生活状態にある方々には一定の条件下、ご支援をしたい。早急に要項を作り、議会にお諮りもしながら予算措置を講じ、実施したいと思っております。

Q 学校に洋式トイレを

A 山分教育長

時代は流れ、生活環境も変わり我々大人もそうでありますが、子供たちは和式のトイレを使う機会が少なくなりました。学校施設に洋式トイレが少ないようです。早急に対応して頂きたいのですが。洋式トイレは、小・中学校では大体3つに1つの割合になっています。なお北小学校では22年度の増築工事によって全体の半分が洋式トイレになっています。ご指摘のように最近の家庭では下水道整備により洋式が普及しています。洋式トイレについては、学校ですご家族だけで一緒に使用するということとは違い、人の座った後に座りたくないと思える生徒もいるのではないかと考えています。洋式トイレと従来のトイレとの整備割合を検討する意味からも、まずは子ども達にどちらが使いやすいか、その様なアンケートを取りたいと思っております。

Q&A

固定資産税の算定基準
について



池田弘昌 議員

Q 実勢価格、実際に売買をさ
れている価格、地価公示価
格、課税標準額、いろいろありま
すが、それぞれの算定基準を教え
ていたがきたいと思います。最近
は逆転現象をしているところもあ
るのではないのでしょうか。

A 馬場税務課長

実勢価格と地価公示価格及び課
税標準額の関係について、非住宅
用地での土地評価の場合、まず国
が実勢価格を参考に鑑定評価を行
い、この鑑定評価に基づき、地価
公示価格が決定されます。地価公
示価格は国の基準であり、この7
割が固定資産評価額になります。
この固定資産評価額の6割から7
割が課税標準額になります。
不動産不況の影響で実勢価格が
下がるかどうかは今までの経緯を
見る限り、極端には下がっている
実例はなく、下がるにしても若干
の減額という感じで、過去もその
ようであったかと思えます。

Q 農業について



池田弘昌 議員

個別保障制度が始まりました。
この政策は耕作放棄の田んぼをなく
して農産物の自給率向上を目的に
今年から始まり、この制度は米を作
らないと保障はもらえない事になっ
ています。宇多津町の現状はどうか。

A 宮本産業振興課長

町の状況ですが、5月末現在で
151名、52万4、673㎡であ
り、町の農家の約半数の方々が申
請しています。その残り半分は高
齢の方、後継者不足で人に農地を
貸しておられる方といったよう
な方々です。
この制度を受けるために、今年
国から配分された生産面積50万㎡、
50町歩をクリアしなければならず、
2万4、673㎡の超過になり、
生産調整をしなければなりません
でしたが、坂出市の生産面積が目
標に達しなかったため、坂出・宇
多津水田対策協議会で調整の上、
その坂出の不足分を町が頂き、協
議会全体ではクリアをしました。

子ども読書環境の充実を



青木義勝 議員

Q 本を通して親子のかかわり
を深めるブックスタートが
始まって10年目。読書は豊かな心、
考える力、生きる力を育む。教育
現場の取り組みやセカンド・サ
ードブック事業など、今後の展開に
についてお考えを。

A 山分教育長

例えば、幼稚園では読み聞かせ
事業、小・中学校では学校図書指
導員の配置、23が60運動など読書
活動の推進を行っています。
また、町は、図書室活動の活性
化も進めたり、ユープラザうたづ
の団体貸出制度を活用するなど公
共図書室とも連携し、児童の読書
活動を支援していますので、セカン
ド・サードブック事業のような効
果は果たせていると思っております。
A 亀井保健福祉課長
サポートセンターでは、はぐは
ぐランドでの読み聞かせ、絵本の
貸し出しも行っており、今後、
絵本の一層の充実を図りたいと考
えています。

Q クールアースデー2010
を迎えて

環境省は6月20日から7月7日
まで地球温暖化防止のために「C
O2削減/ライトダウンキャンペーン」
を行っている。本町も企業や
家庭にライトダウンを呼びかけ
は。

A 藤原住民生活課長

昨年、広報紙上で、町内の企業、
家庭に6月20日から7月7日の間、
不必要な照明を消灯するよう呼び
かけました。7月7日のクールア
ースデーには、夜8時から庁舎、
保健センターでライトダウンを実
施しました。また、新都市の企業
120社余りにもライトダウンの
ご協力をお願いしました。
今年も6月21日の夏至、7月7
日の七夕の日、庁舎を主に、関係
施設でライトダウンに取り組みた
いと思っています。また、企業に
も個別に呼びかけを行いたいと思
っています。広報紙にも掲載し、
昨年と同様の取り組みを行いた
いと思っています。

ハント族対策

Q 臨海公園のリニューアルで賑わいを見せる一方、歓迎されざる輩として、真夜中のハント族問題がある。警察と協力して行政も知恵を出し、あるいは住民にも協力を得られるような対策が必要ではないか。

A 藤原住民生活課長

今まで二重駐車防止のためのポールの設置、防犯灯の設置、臨海公園臨時駐車場の休日・祭日の夜間封鎖、夜間パトロールなどの対策を行い、最近では、民間へ青色パトロールの委託、防犯カメラの設置などを行ったところです。

住民のボランティアの皆様には、定期的に青パトの運行や夜間のパトロールをしていただいております。このような活動のおかげで町内の犯罪件数は着実に減少しています。が、ハント族への対策としては、安全や時間帯などを考えると少し難しい面もあるのではないかと考えます。今後とも警察と連携し、対応をしたいと思っております。

Q 子供手当と滞納整理について

子育て中の方にとって、待望の子供手当が6月から支給される。学校給食費などの教育費滞納に充当することも法の趣旨に反するものではないと思うが町はどのような考えか。

A 亀井保健福祉課長

町では、滞納者に対し、子ども手当の支給について、支給の都度、受給者へ説明し、理解を求めた上で子ども手当を滞納額に充てていただくような、そのような具体的な方法を検討したいと考えています。

A 合田生涯学習課長

教育委員会としても保護者の方々に理解いただいた上で、何かの形で検討をし、滞納整理に努めていきたいと考えています。



藍川佳津樹 議員

町長選挙に谷川実氏立候補について

Q 今全国で2、500余のテーマパークが軒並みの経営不振だ。宇多津水族館計画も例外ではない。駐車場を4、000平米、4億円で買収しようとしたが、先の議員総会で賛意が取れず棚上げとなった代物だ。前米澤町長は香川短大の週施文章で50億円の人工海浜整備計画を議員総会で発表した。唯一の生き残り町長経験者米澤正文氏は「世界や日本でも飛行機路線の減便時代だ」と語り「水族館はする時代ではない」と明言いたしました。

A 谷川町長

人工海浜は、過去、議会への報告で、あくまで明治時代に作られた護岸が極めて危険な状態なので、当時国のふるさと海岸という制度を活用し、護岸を擁護し、そして前面に砂浜を置くことで、臨海公園全体の活用ができるのでは、と申しあげました。残念ながら国においてこの事業の地元負担率も高まり、県が、その負担金を持つことに耐えられないということから、我が町のことについては国に申請ができません、とお断りをされました。

なお水族館の話で誤解があるようですが、駐車場に4億円をかけるということは発言したことはありません。



井原猛雄 議員

Q&A

ご当地ナンバーの導入
について

Q 軽自動車税を徴収する目的以外の付加価値を発生させるため、原付バイクをはじめとする排気量125cc以下の二輪車に宇多津町独自のナンバープレートを導入し、まちの元気を全国に発信してみては。

A 馬場税務課長

町における原動機付自転車の登録台数は、平成22年4月現在で1,285台となっています。1年間の交付枚数は、50cc以下においては200台から220台程度交付しています。90ccと125ccでは、年間で30枚ほど交付しています。今後は、ご提案のとおり、地域振興、地域の知名度アップという観点から、このナンバープレートを導入してまいりたいと思います。



Q 学校施設の安全管理について

昨今、全国の学校現場における転落事故の発生は少なくなく、決してまれな事故ではなくなっている。宇多津町の学校施設におけるソフト・ハード両面での転落事故防止策は心配ないのか。

A 西山学校教育課長

校内の安全対策としては、まず「危険箇所の排除」があります。現在、現状の把握により、危険と思われる箇所については立入禁止の措置をしています。次に「日常点検」については、各関係施設で担当者が定期的な点検表に基づいて実施しています。なお、遊具とか施設設備全体については、管理職、校長、教頭が点検を行っています。

更には「子どもへの安全指導」で、職員会議、全校集会などを活用して周知すると共に学年団、学級で、学校での生活指針、決まり等を具体的に指導しています。



平田弘次 議員

宇多津小学校通学路の
改善策は

Q 南部より通学している児童は県道西側の歩道を通学しています。

県道の舗装が傷んでおり、雨天時に水溜りができ歩道側に相当量の水がはねてきます。びしょぬれになる児童が多くいる様ですがその改善策は。

A 松井建設課長

県道富熊宇多津線は丸亀及び国道11号線と町内を結ぶ幹線道路で大型車輛も比較的多く通過します。このため舗装面はわだちが生じやすく道路側溝などの整備が不十分なのと相まって路面に降った雨水が溜まっている所が見られます。この件は宇小PTAからも道路管理者である県中讃土木事務所に改善要望書が提出されています。

今後の対応策は実際に雨が降った時にPTAと県土木事務所が現地調査を行う運びとなっています。その結果を踏まえ地元関係者等とも相談しながら緊急を要する所から順に実施可能な対策を検討していくという事でありです。

Q 成人式の開催日について

現在は様々な事情があり、3連休最終日の成人の日開催されています。県外から帰省する人も落ち着いて出席できるように中日に開催するように調整をしていただけませんか。

A 合田生涯学習課長

町の成人式は、従来から国が定めた成人の日を実施することが慣例となっています。過去、県外在住の成人者から前日の開催を望む声があり、日曜日の開催を検討したこともあります。しかし、年初めでもあり、各種団体の行事も予定され、実施されており、来賓の方もそちらに出席することから本来の成人の日を実施しているという経緯もあります。

このような中で、まずは成人式に多くの成人の方に出席してもらうことが先決と考えていますので、各種団体と日程調整などを図っていきたいと考えています。



宮本 隆 議員

創造の森の維持活用と 聖通寺山史跡の整備を

Q 「創造の森」は、案内板や遊歩道等に不備がある。維持をどうお考えか。また、この里山を自然教育に十分活用できているのか。

聖通寺山頂にある、「積石塚古墳」の外観復元と「ゆるぎ岩」への道の整備をお願いしたい。

A 宮本産業振興課長

案内板の向き、遊歩道が草で見えないなどのご指摘がありました。改善したり、本当に危険なところは早急に対応したいと思います。

A 合田生涯学習課長

積石塚古墳は草刈りだけでなく、良好な環境の中で積石の保存を前提に指定文化財として維持管理に努め、後世に伝えなければならぬと考えます。また、ゆるぎ岩までの道は、再度所有者の方に協力頂き、不便にならないよう自然環境に調和した整備方法を検討したいと考えます。

A 西山学校教育課長

北小学校では青の山の歴史的な価値を授業に生かすため、次年度、6年の社会科の授業の候補地として位置づけ、検討すると聞いています。

Q 「広報たづ」についてアンケート調査を行ったが、行った理由と結果は。見ない保存しない現状があるが、どう分析活用をするのか。

今後、情報量が増え、内容を簡潔にする必要があるが、広報印刷費をどうお考えか。

A 谷川町長

広報は、情報の公開のツールとしては極めて重要であると思っておりますが、内容が果たしてその様になっているのかどうか、ご指摘を含めて検討したいと思います。

A 谷川総務課長

広報うたづのアンケートは、読者ニーズの把握や今後の紙面作りの参考とするために行いました。回答率が全体の4%弱で分析が難しい面もありますが、貴重なご意見を頂戴でき、活用できるものは前向きに検討しようと考えています。

経費ですが、その増加を極力抑えるという中で、公益性がある話題を中心に記事を掲載し、読みやすい紙面づくり、内容のある広報紙の発行に努めたいと考えています。



大松喜次郎 議員

日曜議会

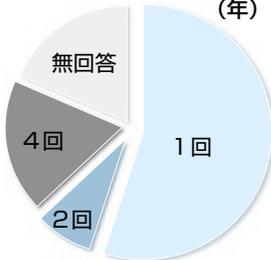
6月13日、日曜議会が開かれました。議員の質問については、「分かりやすい」という回答が多い中、議員によっては「質問が長すぎる、内容もわかりにくい」というご指摘もありました。また、答弁についても、概ねわかりやすいようですが、中には「要点をまとめ」という意見も。

日曜日はイベントや町内の行事と重なるため傍聴者が少ないこともあります。一人でも多くの方に来て頂けるよう、より魅力ある議会を目指したいと思います。



アンケート調査結果

日曜議会を年に何回開催すれば良いですか(年)



議会の傍聴回数



議員・質問について

- ・議員によっては、質問がだらだらして、結局何を言いたいのかわからない。
- ・質問が重複していた。

行政側・答弁について

- ・今以上長くならないようにしてほしい。
- ・議会中に眠っているように見える人がいる。

議員・質問について

- ・省エネとは言え、議場が暑かった。
- ・議会のネット配信をしてほしい。

第2回議会報告会を開催



5月13日、保健センターにおいて「第2回議会報告会」が行われ、60人の町民が参加した。この報告会については、議会日より・広報などで広く町民に呼びかけをした結果、30代～80代までの町民が集まって熱心に耳を傾けた。
まず、各議員から22年度予算などについて説明があった。

① 総務民生常任委員会の報告

- ・一般会計予算等について。町民一人当たりに使われる額と負担する額、歳入と歳出の内訳。
- ・主な事業内容（まちづくり交付金事業、遊歩道）について。

・特別会計（健康保険、介護保険、墓地整備）について。

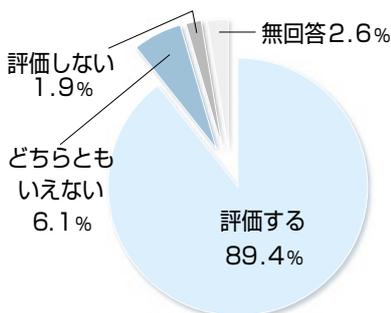
② 建設教育常任委員会

- ・水道事業について。（値上げについて）
- ・北小の増築、宇小の耐震化工事について。
- ・ユープラザの譲渡受け入れについて。
- ・宇小のプール改修工事について。

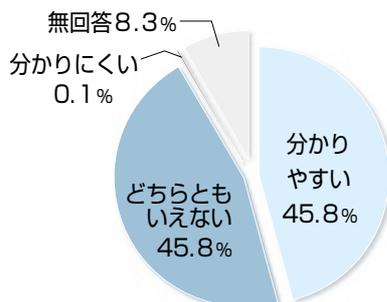
最後に参加者から自由な意見や質問が出され、一つ一つの質問に対して、議員が回答した。

議会報告会について

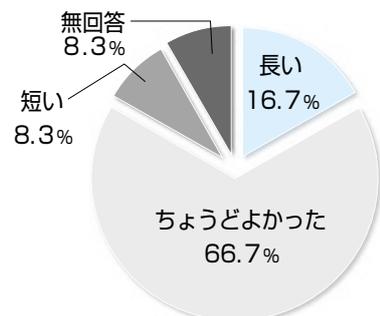
開催したことの評価



説明の内容



説明時間



アンケート調査結果

参加者からの意見・要望と議会の対応

①宇多津町誌編纂について

Q 宇多津町誌の編纂に関わっているが、予算も限られていて、現状では字が小さいものしかできない。

A 進捗状況を確認し、教育委員会から資料提出や文字の大きさについても要望したい。

②要望書の取り扱いについて

Q 文化協会から、保健センターの料金値上げについての要望書を提出した。400人の署名まで付けたが、どうなったのか。

A 出された要望書については、一旦提出されるも、個人が取り下げており、議会には提出されていない。議会サイドでも再確認したい。

③ガードレール設置について

Q 角山プールへ行く坂道にガードレールを設置してもらいたいが、どう要望するのか。

A 今月末までに要望書が提出されれば、6月の定例会で審議できる。

④平山保育所について

Q 新都市の保育所では借地料を払っているのに、平山はなぜ無料で貸すのか。

A 民営化されれば国からの補助金もあり、町としてはコストの削減につながる。

⑤水族館について

Q 臨時会での365万円の予算の使い道は？町からも出資するのか。

A 市場調査の費用に充てる。町は水族館建設にはお金も口も出さず、環境整備のみ行う。

⑥ユープラザの譲渡について

Q 県から無償で頂けたのはありがたい。有効に活用してほしい。議員活動も頑張してほしい。

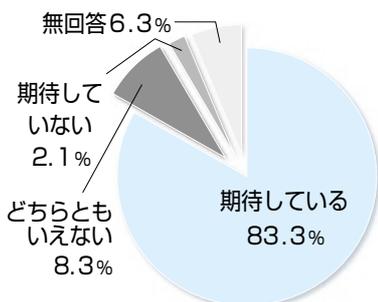
A 今後も一層頑張りたい。



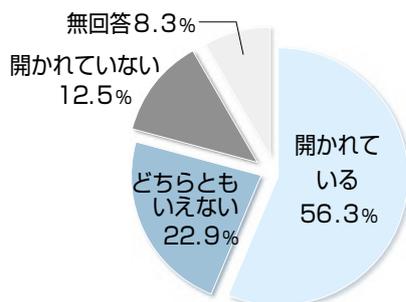
議会報告会では、議員と町民との対話ができ、大変好評だった。町民の皆さまに期待して頂いていることをしっかりと受け止め、今後でもできるだけ情報公開に努めながら、議会活動に邁進したい。

現状の町議会について

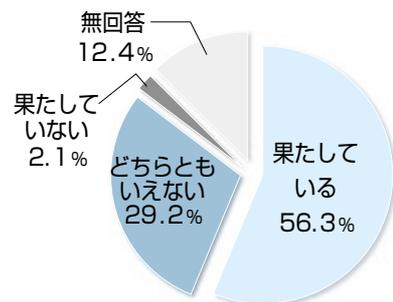
議会への期待



議会の情報公開



議会の役割について



議会日誌

5月

- 6日 定例議員総会
- 10日 総務民生常任委員会、建設教育常任委員会
- 13日 第2回議会報告会
- 25日 議会運営委員会、議員総会

6月

- 4日 議会運営委員会、議員総会
- 7日 全員協議会
- 10日 第2回定例会本会議、議会運営委員会
- 13日 一般質問（日曜議会）
- 14日 総務民生、建設教育合同委員会
- 15日 総務民生常任委員会
- 16日 建設教育常任委員会
- 17日 全員協議会、本会議
- 29日 議会運営委員会

7月

- 2日 第3回臨時会
- 5日～7日 総務民生常任委員会行政視察
- 8日 定例議員総会
- 14日 総務民生常任委員会
- 16日 県下議会広報発行町連絡協議会総会及び研修会

議会広報特別委員



大松喜次郎委員 宮本 隆委員
西本弘子副委員長 香川虎生議長 平田弘次委員長

これから夏祭りの時期となりますが、7月31日に「ウタヅ・アロハナイト」が3会場で開催されます。フラダンス人口は、全県1万5千人で、高松・小豆島・宇多津が多いようです。当日は5チーム130名の出演予定ですが、一緒に踊ったり見たりして、ストレスを解消しましょう。

(K・D)

表紙の言葉



宇多津小学校

今年は雨の日が多くなっていますが、宇多津小学校では、全面改修した新しいプールで水泳の授業が行なわれていました。

撮影日は、1年生が水に慣れるためのゲームや、足を着けずにどこまで泳げるかなど、先生方の工夫した授業が続いていました。小学校に入学して初めてのプールで、児童全員の楽しそうな笑顔がたいへん印象に残り、プールの改修が出来て本当によかったと感じました。

開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために、様々な取り組みをしています。

- 定例議員総会（毎月第1火曜日）
- 『議会だより』の作成・発行（年4回）
- 日曜議会などの開催
- 各委員会による調査・研究など

ご意見等は議会へ

（匿名によるご意見等はお受けする事ができません）

編集後記

7月には、梅雨前線の影響による大雨で各地に被害ができました。宇多津町では、6月28日に雷を伴ったゲリラ豪雨で、9戸が床下浸水をしました。約30分で32・5mmの雨量なので時間65mmだったようです。町の雨水管は、時間35・9mmを想定しています。そこで、網の浦地区の一部について、管以外も含めて検討中ですが、8月中旬には例年の1・3倍のゲリラ豪雨の発生があるという報道もあり、早期の対応が望まれます。